

児童虐待防止保健医療従事者セミナー実施要領

目的：

最近、児童虐待が大きな社会問題になっています。県内でも、子ども家庭相談センターに寄せられた相談件数は、平成17年度が645件と過去最高で、また、平成17年度、18年度に、相次いで死亡事件が起こるなど、大変憂慮すべき状況にあります。

深刻化する児童虐待の問題に対応をしていくためには、福祉、保健、医療、教育などの関係機関が連携、とりわけ、医療機関が保健福祉との連携を密にしていくことが、子どもの命を守る観点からも重要な課題となっています。しかし、厚生労働省研究班の調査結果でも、医師の約半数が通告に抵抗を感じており、その主な理由として、虐待の判断に自信が持てないことや保護者とのトラブルを避けたいことがあげられています。

このようなことから、医療機関が虐待の疑いのある子どもを発見したときの市町や子ども家庭相談センターへの通告、連携など、積極的に児童虐待問題に関わりをもっていくための啓発の一環として、今回、保健医療従事者等を対象に、児童虐待防止に向けたセミナーを開催することとします。

1. 主催：

滋賀県、滋賀県立小児保健医療センター、滋賀医科大学

2. 後援：(予定)

(社)滋賀県医師会、(社)滋賀県歯科医師会、(社)滋賀県病院協会、
滋賀県市町保健師協議会、(社)滋賀県看護協会

3. 実施時期：

平成19年3月18日(日曜日)午後1時15分から4時30分頃
※受付 午後0時30分から

4. 場所：

滋賀県庁新館7階大会議室(大津市京町四丁目1-1)※公共交通機関を利用ください。

5. 対象者

医師・歯科医師・看護師・助産師・歯科衛生士、ソーシャルワーカーなど病院(開業医)関係者、市町児童福祉・保健・学校関係者、保健所・子ども家庭相談センター関係者など

6. 内容：

1部 基調講演

演題「子どもへの虐待を防止するための医療機関の役割と期待」

講師 医療法人 河野外科医院 理事長 河野 朗久氏

(大阪府監察医・児童虐待危機介入援助チーム委員、滋賀医科大学講師)

2部 シンポジウム

テーマ「医療機関が虐待通告、保健福祉と連携をしていくために」

司会者 井下 英二 氏(大津保健所保健福祉課長)

助言者 河野 朗久 氏(医療法人 河野外科医院理事長)

情報提供者 ※五十音順

小西 真 氏(県児童虐待防止対策連絡協議会幹事 県医師会理事)

菅野 道英 氏(彦根子ども家庭相談センター専門員)

藤居 正博 氏(県歯科医師会 学校歯科担当)

水戸守壽洋 氏(大津赤十字病院 小児科部長)

7. 申し込み方法：

参加をご希望の方は、3月9日(金)までに、裏面申込書により、子ども家庭課あてFAXかメール(cap-dv@pref.shiga.lg.jp)で申し込みをしてください。(参加無料)

